


## 【職員が健康で働きやすい職場づくりと地域社会への健康経営の推奨】

当金庫は、1971年に「コミュニティ・バンク宣言」を行って以来、地域の持続的な発展と豊かなコミュニティの創造をめざすことを社会的使命と考え、役職員一人ひとりがコミュニティ・バンクの一員として地域のお役に立つことを考え行動しています。

そのためには、役職員が健康で楽しく、毎日を「働き甲斐」・「生き甲斐」をもって仕事に取り組むことが必要不可欠であり、また役職員とその家族が健康で充実した生活を送ることで最良のパフォーマンスが発揮できると考えています。

上記の考えに基づいて、2019年8月に制定した「SDGs宣言」では「健康で働きやすい職場づくり」を重点課題とし、2019年11月に制定した「健康経営宣言」においては、役職員とその家族、地域の皆さまや地域社会の健康について取り組んでいくことをお約束しています。




『京都信用金庫 健康経営宣言』

京都信用金庫は、コミュニティ・バンクの理念に基づき、地域に一番近く、職員一人ひとりが生き生きと活躍できる金融機関をめざし、健康経営に取り組んでまいります。

1. 職員一人ひとりが健康でしあわせな人生設計を描ける職場風土を醸成します。
2. 職員・家族の将来を共に考え、ワークライフバランスを実現する暮らし方に合わせた働きやすい職場環境をつくります。
3. 心身の健康を大切にし、地域社会とともに共通価値を創造します。
4. 働く人にやさしい地域づくりをめざし、地域の皆さまにも健康経営を推奨してまいります。



京都信用金庫  
理事長 榊田 隆之



## 【2019年度の取組】

当金庫は、自社の役職員の健康増進と健康に関するリテラシーの向上を目指すとともに、地域社会にも健康経営を推奨していくことに努めています。

2019年度は、「食」や「運動」を通して、地域企業の従業員の健康維持・増進、モチベーションや生産性の向上による組織の活性化について考える下記の取組を実施しました。

- ・  [「食からはじめる健康経営セミナー」](#)の開催（2019年6月）
- ・  [「食・運動から考える健康経営セミナー」](#)の開催（2019年10月）

今後も、当金庫では、地域の皆さまとともに「健康経営」を実践していただけるような取組を推進してまいります。

## 【全国健康保険協会（協会けんぽ）京都支部との業務連携】

当金庫は、全国健康保険協会（協会けんぽ）京都支部と業務連携し、同支部の事業「京から取り組む健康事業所宣言」に認定された事業所を当金庫の「健康経営パートナー事業所」として、当該事業所および事業所にお勤めの従業員とその家族の方に優遇商品を提供しています。同支部と相互に緊密に連携することにより、京都府内における中小企業の「健康経営」の取組をサポートし、地域社会の健康増進と府内の中小企業の発展に資することに努めてまいります。

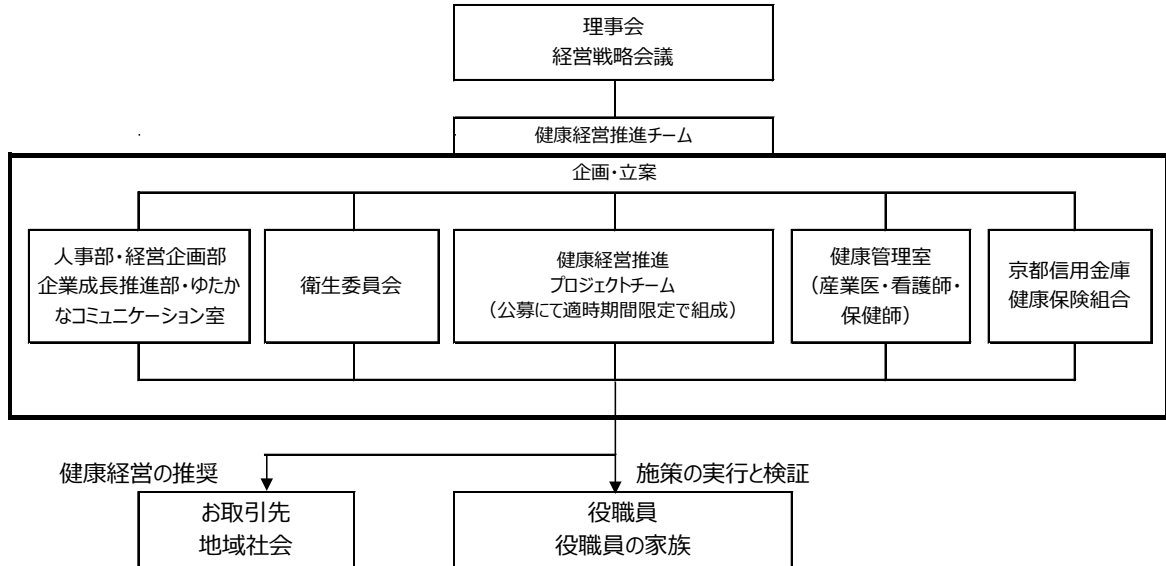
## 【健康経営優良法人に認定されました】

2017年から4年連続で「健康経営優良法人」に認定されました。この認定制度は、経済産業省が地域の健康課題に即した取組や日本健康会議が進める健康増進の取組をもとに、特に優良な健康経営を実践している法人を顕彰する制度です。これからも当金庫は一層、健康経営への取組を推進してまいります。



## 【当金庫の健康経営推進体制】

健康経営の取組を推進していくため、下記の体制を組織し役職員で取り組んでいます。



## 【開示】

健康経営にかかる取組状況を、ホームページ等で開示しています。

[PDF](#) [「新型コロナウイルスを乗り越え100周年へ向け2000人で日本一コミュニケーションが豊かな会社を目指す 2019年度実績」](#)